

てしかが歴史写真館 161



6月に行われたつつじヶ原馬車の旅

馬の祭り 郷土の自然 6 ～阿寒国立公園指定80周年～

農耕や木材の搬出、生乳の運搬など、馬と共に生活をする時代がありましたが、機械化によりトラクターや車などにその役目が移り、日常生活で馬との関わりは少なくなりました。現在は、生産事業や観光の新たな付加価値、ホースセラピーなどを展開する時代です。

暴風により公園内の森の木がなぎ倒され、散策路の歩行が不可能になり、車や重機が入れないため倒木処理ができない状況が発生しました。人力でも難しいために馬で搬出することを検討し、搬出作業の馬を探しましたが見当たりません。川湯の馬主さんに相談したところ「昔は馬搬をしたことはあったが、今の馬は搬出作業をしたことがないので、どのようになるか分からない」という返事でした。再度、馬以外の搬出作業はできない説明をしたところ作業の運びとなり、作業当日を迎えましたが、馬は慣れない場所に来ると、落ち着きがなく好奇心と警戒心が混ざった仕草をします。知らない場所で森の中に入り、やぶこぎをして倒木を搬出することは、馬自身に戸惑いがあるように見えたが、次第に慣れ搬出が進み、2日で作業を終えました。作業後の散策路は、倒木の搬出が整地作業と同じような効果を生み、凹凸がなくなり歩きやすい道となり、馬による搬出作業は自然散策路にやさしい結果となりました。

9月に第6回摩周湖ばん馬大会が地域が中心となり開催されますが、馬が数百キロの重りを乗せたそりを引く姿は圧巻です。祭りは文化の象徴であり、長い時間をかけて伝えられ、人と馬との関わりが強かった時代の知恵は、ばん馬大会に引き継がれています。北海道の馬の歴史を思いながら、秋の一日をばん馬大会で過ごすのも良いものです。

てしかが郷土研究会(藤江)



「達成感・自信とともにゴール！」

弟子屈町未来子ども協議会の主催で今年も行われた「元気いっぱい!僕らの旅!(アドベンチャーツーリング2014)」。

8月6日に斜里町を出発した小学生9人が、自転車で180キロを走り抜き、10日にそろって弟子屈町に到着しました。

(関連記事2～9ページ)

Public relations magazine

2014.9

No.721

てしかが

主な内容

- 元気いっぱい!僕らの旅!.....②
- 防災ワンポイントコーナー.....⑩
- 総合サービス室は役場の総合案内窓口です.....⑪
- 町のホームページがスマートフォンに対応.....⑫
- 初めまして!ウィル&ダニです.....⑬
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設.....⑯

2014.9
てしかが

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/まちづくり政策課 ☎482-2913 ☎482-2696
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

R100 この広報紙には再生紙を使っています



奥春別小5年
小泉 真大君



弟子屈小5年
岩本 桃香さん



和琴小4年
土田 渉介君



和琴小3年
永谷 優奈さん



弟子屈小3年
鈴木 大地君



弟子屈小3年
木名瀬 周太君



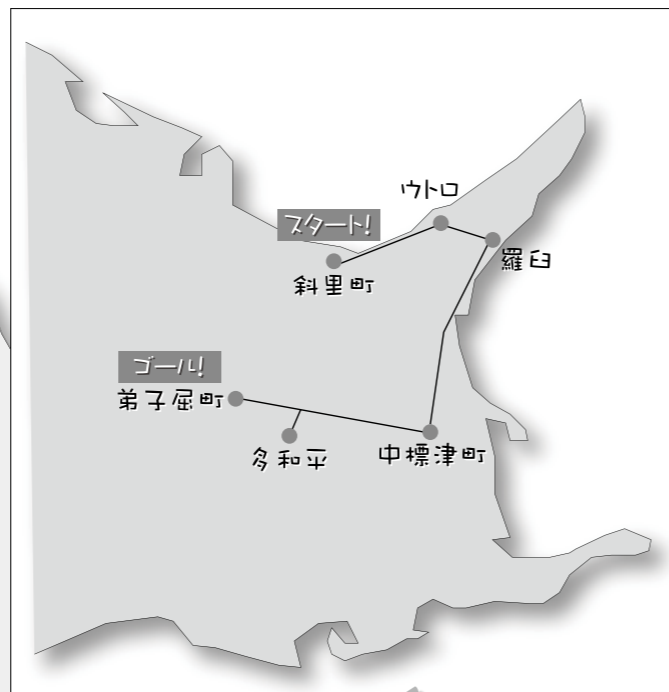
弟子屈小3年
伊藤 溪一君



和琴小2年
土田 英恵さん



奥春別小2年
小泉 汐南さん



今年の冒険小僧たち

弟子屈町未来こども協議会(目黒厚子会長)主催の「元氣いっぱい！僕らの旅！」(アドベンチャーツーリング2014)が、今年も8月6日～10日の5日間にわたって行われました。
グループ分けやツーリングのコース、食事計画などを子どもたちが自ら決定し、旅をする活動。活動は6月に始まり、12月まで続きます。今年も小学校2～5年生9人が参加。テントでの寝泊まりや野外での自炊を行いながら、総走行距離約180kmの自転車ツーリングに挑戦しました。
活動の目的はどこにあるのでしょうか。そして、参加した子どもたちの様子は…。写真で活動を振り返りながら、内容を紹介します。

自分自身に自信を持つ
仲間と信頼関係を築こう

僕らの旅！
元氣いっぱい！

アドベンチャーツーリング2014

非日常生活体験活動を通して豊かな心と生きる力を育んで

今年も子どもたちの熱い夏が終わり、秋が深まりました。

「元氣いっぱい！僕らの旅！」(アドベンチャーツーリング2014)は、弟子屈町未来子ども協議会が主催して今年で4回目。非日常生活体験活動を通して、子どもたちが社会性や協調性、冒険心、挑戦心を養うこと。思いやりの心や豊かな心、たくましく生きる力を育むことを目的に行われています。今年も小学生2～5年生9人が参加しました。

子どもたちの課題の解決そして人づくりへ

アドベンチャーツーリングには、活動によって現代の子どもたちが抱える課題を解決したいというねらいがあります。具体的には、次の2つの目標を掲げています。

- 仲間と信頼関係をつくること
- 自己肯定感の向上

(自己肯定感の向上) この目標の背景にあるのは、現代の子どもたちに見られる、次のような現状です。

- コミュニケーション能力が低下している。
- 自分が傷つくことを恐れ、他人とのコミュニケーションを回避する。
- 友人関係や対人関係が希薄で、異年齢や異世代との交流が少ない。
- 失敗を恐れ、自分自身で決定することをしない。
- 他人任せで、言われたことだけに取り組む。
- 体験不足で、学習などの意欲が低下している。
- 自己肯定感が低下している。

インターネットや携帯電話の普及により、これまでになかった全く新しいコミュニケーションの形が生まれました。便利になった反面、子どもたちの人間関係にも大きな影響を及ぼしています。直接、顔を見て感情や思いを伝え合うことから、携帯電話でのメールなどへ。結果として、友人関係が生まれる青少年期に人間関係が希薄化したり、友人関係に問題が発生したりする事態となつていきます。

また、核家族化・少子化が進み、異年齢の子どもとの交流や、親や学校の先生以外の大人との触れ合いの機会が減少していることも、子ども

アドベンチャーツーリングを通して成長を

未来子ども協議会が主催する体験活動の中で、アドベンチャーツーリングは「たくましく育ってほしい」「仲間と協力し、信頼関係を築いてほしい」「自分に自信を持つてほしい」というねらいのもと行われています。そのため、子どもたち自身を中心に、日頃行わない活動に挑戦すること、挑戦によって「気づき」を得ること、「気づき」によって子どもたちも保護者もスタッフもみんなが成長していくことが必要だと考えています。

こうした観点から、アドベンチャーツーリングも、走って終わりではありません。活動は自転車に乗る前の段階から始まります。参加希望者に対する条件が「全日程に参加できること」とされた理由が、ここにあります。

メンバーと初対面

初めての活動は6月29日。今年のメンバー9人が決まり、開会式とオリエンテーションを行いました。

開催に先駆け、6月5日には保護者説明会を開催。事業の趣旨や目的、内容などを理解していただいた上で参加していただくためです。

たちのコミュニケーション能力の低下につながっています。

さらに、家庭や学校ではいろいろな制約も多く、指示されないと行動できない子どもが増えていきます。制約を受けていることから、失敗してしまうことや間違つてしまうことを恐れ、自分で物事を決定することができません。自分から進んで行動したり、自分の思いや考えを持つことが苦手になっています。

加えて、学びの土台・出発点である「体験」の不足により、子どもたちの思考の活性化が妨げられているともいわれています。

以上のことから、自己肯定感を持っていない子どもが増えていきます。

家庭・学校・地域が連携し子どもの成長の一助に

子どもたちが抱える課題を解決し、大きくたくましく成長した先にあるもの。それは、その力を発揮して地域づくりを担ってくれることだと考えます。人づくりは地域づくり。そういった観点から、さまざまな体験活動や集団活動が子どもたちに必要だと考えています。

そうした機会を子どもたちに提供したいと、同協議会ではさまざまな事業を展開しています。子どもたちが健やかにたくましく成長できるように、また、地域に対する愛情

を育んでいけるように…という思いからです。

根底にあるのは、子育ては家庭と学校、地域が一体となつて行うものだという理念。理念は第5次弟子屈町総合計画にもうたわれ、具体的な事業としては町教育委員会が行う青少年健全育成事業などがあります。が、地域での子育ての受け皿になりたいと同協議会では考えています。

地域での子育ての受け皿・窓口になるため

ところで、皆さんは弟子屈町未来子ども協議会をご存じですか。

同会は2006年10月1日設立で、現在の会員は21人。子育て世代のお父さんお母さん、子育てが一段落ついたおじいちゃん・おばあちゃん、保育士や元保育士、元教師、保健師などで構成され、子どもたちの健全な成長を地域として支えるために、さまざまな活動を行っています。

同協議会では随時、会員を募集しています。申し込み資格は特にありませんので、お気軽にお問い合わせください。

□問い合わせ先/会長・日黒 ☎482-3062まで。

初対面の参加者もいるため、初めに自己紹介やアイスブレイク(仲間づくりのゲーム)などを行いました。お互いに打ち解けたところで、ツーリング中のグループ分け。「アドツアー班」「やる気マック班」の2つのグループができました。

また、スタート地点についても話し合い、斜里からウトロ、羅臼という、知床半島でのツーリングが決まりました。

いよいよコース決定 体験活動も盛り込んで

7月6日第2回目の活動では、旅のコースを決めました。

体験活動は、海釣りやゆめの森公園(中標津町)での遊びに決まりました。地図と首つ引きで仲間と話し合いながらのコース決め。1日に自転車で行くことができるのか、宿泊地はどこにするのか…。考えることはたくさんあります。

こうして、4泊5日の行程が出来上がりました。

自転車で長距離を走り炭をおこして食事を作る

第3回目は7月27日。自転車走行や野外炊飯の練習をしました。 TENTを張るのも、炭をおこすのも、食事の準備をするのも子どもたち自

6月29日(日)	第1回目	開会式・オリエンテーション。ツーリングのグループ分けやスタート地点などについての話し合い。
7月6日(日)	第2回目	旅のコースづくり。
7月27日(日)	第3回目	自転車走行練習や野外炊飯など。
8月3日(日)・4日(月)	第4回目	旅の間の食事計画づくり。持って行く装備や道具についての話し合いと準備。自転車走行練習。テント設営の練習。
8月6日(水)～10日(日)	本番	JR摩周駅から車で斜里駅に移動してツーリングスタート。4泊5日で180kmを走破して、元気に弟子屈町に到着。
8月11日(月)	第6回目	後片付けなど。
12月上旬	第7回目	活動の振り返り。

身です。長距離のツーリングを終えて、疲れた体での食事の準備。本番はどうなるのだろうか、思いをはせながらの活動となりました。

間近に迫ったスタート みんなで最終確認

第4回目は8月3日・4日の2日間。6日のスタートに向けて最終確認です。グループごとに目標やルール、食事の計画を決めました。さらに、持って行く道具を準備・点検し、積み込みを行いました。

3日には、各グループで走行コースを決めて、公民館↓川湯エコミュージアムセンター↓屈斜路ガイドステーションわか↓町公民

館と50キロ以上の自転車走行と、テント設営・撤収の練習も行いました。

いざ本番 自転車旅の始まり

本番初日の8月6日は、JR摩周駅前での出発式の後、お父さんやお母さんが見送る中、汽車で知床斜里駅へ移動。斜里駅前からツーリングを開始しました。

活動中、スタッフは基本的には見守りに徹します。子どもたちが主体となつて旅を創り出してほしいからです。子どもたちにはつらい場面も多々あったかもしれない旅。乗り越えたとき、子どもたちの心に残るものは何だったのでしょうか。



心豊かで心身ともにたくましく育つために

スタッフの思い



プログラムディレクター
 弟子屈町未来子ども協議会
 事業部長
奥村 利之さん

8月6日、いよいよ待ちに待った出発日。早朝6時40分にJR摩周駅に集合して出発式。お父さん、お母さんなどが見送る中、出発地のJR知床斜里駅まで汽車に乗り込み、アドベ

ンチャーツーリングは、今年、活動の中心になったのが自転車走行。自転車の乗り方、手信号(シグナル)や声掛けを学び、自動車や歩行者への意識を高めるほか、走行練習も地図とコンパスを使用しながら40分以上も走るなど「自分たちの旅」に向けての準備を進めました。

多い日で60分ほどの移動、グループごとに、地図とコンパスを頼りに進みます。2日目は、ウトロから羅臼までの知床横断道路を越える日。スタッフとマンツーマンでチャレンジし、全員が自分の足でベタルを踏み、知床峠の頂上に到着しました。最終日、中標津町から弟子屈町ま

保護者の皆さんから



今回初めて参加させていただき、ひとり立ちする娘を送り出す親の心境を感じさせていただくことができました。

参加案内をいただいてきた娘は、私が会社から帰宅後「参加したい」と申し出てきました。最初は冗談かと思いましたが、本人はやる気満々で、やめさせるためにネガティブなことばかり娘に話したことを覚えています。それでも参加したいと強い意思で言われたことで、知らない間に成長していたのだとあらためて感じました。練習期間中も家では弱音を吐くこともなく、自分で決めたことという思いは相当強かったのではないのでしょうか。

ツーリング中は皆さんにご迷惑をおかけしながらも、本人もつらい日々が多かったと思います。帰ってきたときの顔には、達成感に満ちあふれた表情がありました。ゴールは感動的でしたが、私が娘に近寄ったら「あ、来てたの？」でした。これも成長なのでしょう。

娘にとっても、親にとっても大変貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

岩本桃香さんのお父さん



深一へ

5日間よく頑張りました。お父さんも経験したこともない長い距離を自転車で走り抜けましたね。自分の足で知床の大自然を横断できたことは、とってもすてきです。友達と力を合わせて乗り越えてきた努力を、これからたくさん場面でも生かしてください。

子どもたちを温かく見守って、そっと背中を押してください。スタッフの皆さんに感謝です。ありがとうございました。

伊藤深一君のお父さん



アドベンチャーツーリングは子どもにとって、そして親にとっても試練の連続。その試練に立ち向かう自身の強い心、協力し合える仲間と見守ってくれるスタッフの存在。それら全てから、今はまだ子ども自身実感がなくても、いずれ成長し、困難にぶつかったときに、負けずに対応できるヒントが得られたらと思います。

親としても、自転車の練習を子どもと取り組むことで、大変ではありましたが、とてもすてきな時間を過ごせました。

自分の手出しできないところでの厳しい試練に子どもを送り出すこと自体が、親には大きな試練ではありますが、子どもの力を信じて待つことで、親としても一つ成長できるように思います。

親子共々、貴重な機会をさせていただいた未来子ども協議会、スタッフの皆さんには感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございました。

小泉真大君・汐南さんのお母さん



親元では絶対にできない貴重な体験を毎年させていただき、とても感謝しています。

親の目が無い場所で、自分たちの力を信じて活動することで、自信が付き、積極的に物事に取り組めるようになってきているように思います。つい口を出してしまいたくなる場面でも、子どもたちを信じ、じっくりと向き合い、待っていてくれるスタッフの方たちのおかげです。

来年も、その先も、この活動がずっと続いてほしいと願っています。

土田渉介君・英恵さんのお母さん



小学校3年生の二男は、今回が3回目のアドベンチャーツーリングでした。

1年生の時…自転車にまだ乗れなかったのに「行く気」だけで申し込んだため、長い距離が全く走れず、途中で何度も泣いていました。

2年生…序段の「話し合い」が苦手で、みんなと叱られてばかり。でも本番では、つらい坂道を頑張って登れるようになり、それがとてもうれしかった様子。

そして3年生…これまでよりもずいぶん長い距離を楽々と走れるようになり、ぐんと成長したのを感じます。同時に、これまでの経験が少しずつ積み重なって、それが二男の中で大きな自信となっているのが傍目にも分かり、とてもうれしく思います。

「やればできる」は自転車走行に限らず、人生の幅を広げてくれる大きな「気づき」。成長の大きな一歩を、背中を押して応援してくれるスタッフの皆さんには、毎年心から感謝しています。

また、去年・今年と、アドベンチャーツーリングの卒業生である長男が、スタッフとして参加させていただきました。長男も、叱られたり、迷ったり、ご迷惑をおかけしたりしながらずっと参加してきたアドベンチャーツーリングでしたが、積み重ねた経験が糧となって確実に成長しているのを感じます。

家庭の中では決して得られない貴重な機会を与えてくださったたくさんの方のスタッフの皆さん、今年も本当にありがとうございました。

木名瀬周太君のお母さん



今回、初めての参加でした。こんなに良いことが弟子屈で行われていることに、すごく感動しました。子どもと向き合える喜びを感じました。

娘と初めてアドベンチャーツーリングについて話したとき、目がキラキラ。「やってみる」と練習している姿を見て、毎回泣いていた私でした。何から何まで初めてで、とてもよい経験ができました。娘もとても強くなって帰ってきました。

スタッフの皆さんのおかげです。毎年アドベンチャーツーリングがありますように。今の子どもたちに楽しい経験が心に残りますように。

永谷優奈さんのお母さん

アドベンチャーツーリングは参加者と携わる者全ての育みの場

町教育委員会で実施していた「しなが冒険隊 アドベンチャーツーリング」を継続実施する形で、当協議会での実施が4年目の夏を迎えました。保護者説明会を実施し、9人の小学生が参加を申し込み、6月29日から活動が始まりました。グループやスタート地点、ツーリングコースの決定、野外炊飯やテント設置などの活動を、子どもたちが主体となって行いました。



自転車の練習に重点を

ンチャーツーリングが始まりました。今年のコースは、JR知床斜里駅をスタートし、ウトロ→知床峠→羅臼町→中標津町→弟子屈町にゴールの約180kmです。

例年同様、自転車で走行しながらキャンプ場に宿泊。テントを張り、自分たちで夕食を作って食べ、片付け。終わったら振り返りをして寝る…という毎日。天候には恵まれず、テント設置時や撤去時になると雨が降る日が多く、子どもたちには試練となりました。自分の思い通りにならず、段り合いのけんかも度々。2時間ほどかかり、ようやくテントを撤去する日々でした。

「継続すること、地域に根付き広がる活動に」今年、標茶町の東部タイハツ様から車両の借用を、屈斜路ガイドステーションわか様にはテントを貸していただくなど、企業のご協力をいただきました。また、昨年同様、北海道教育大学苫小牧校アウトドア・ライフコース専攻の学生が、実習生やボランティアとして6人参加。さらに、しなが冒険隊時に参加していた小・中学生が社会人や高校生になり、スタッフとして参加するなど、これまで大変ではありましたが、継続実施できてよかったなあ実感しています。



仲間と走った180km



①8月6日 旅の始まりは斜里町／②ウトロを目指して快走／③1日自転車をこいで疲れた体でテント設営／④ツーリング初日 知床の海岸線に行く／⑤自分たちで炭をおこして食事の準備／⑥今日の献立は何か／⑦食後の後片付けも当然自分たちで／⑧急ぎ追加された多和平までの道を地図で確認／⑨お楽しみ体験活動は釣り／⑩大学生スタッフともこんなに仲良く／⑪チャレンジデー 知床峠を越える日／⑫全員無事に知床峠へ／⑬・⑭計画になかった多和平にも元気に到着／⑮ゴール地点で子どもたちを待つお母さんたち／⑯出迎えの中 全員でうれしいゴール

総合サービス室は

どうぞお気軽にご利用ください

役場の総合案内窓口です

印鑑登録証明書 交付手数料 1通450円

印鑑登録証明書は、不動産の登記や自動車の登録、相続など、ご自身の権利・義務の発生や変更などを伴う行為に利用される、重要な証明書です。

印鑑証明書が必要になった場合には、総合サービス室の窓口で印鑑登録をし、印鑑証明書の交付を受けることになります。

印鑑登録をされる方へ 登録手数料 1件450円

- ▶本町に住民登録がある方は、1人1個の印鑑の登録ができます。ただし、15歳未満の方、成年被後見人の方は、印鑑の登録をすることができません。また、印影が不鮮明であったり、印形が変化しやすいなど、登録に不適当な印鑑は登録することができません。
- ▶登録の際は、登録したい印鑑を持参していただくことと、登録する本人であることの確認をさせていただきます。

本人確認の方法(どちらか一つの方法)

- 官公署が発行した免許証や許可証、資格証明書などで本人の写真を貼付したものを提示。
- 本町で印鑑登録をしている方が、その登録印を持参して、登録申請する方が本人に間違いのないことの保証を書面で提出。
- ▶印鑑登録をしたい方が、疾病やその他やむを得ない理由により、ご自身で申請できないときは、代理人の方が委任状を持参し、申請することができます。申請を受けると、役場では申請者ご本人に照会書を送り、申請の意思の確認をさせていただきます。代理人の方は、照会の回答書と申請者の方が登録したい印鑑、代理人の方の印鑑、代理人の方の本人確認ができるものを持参していただき、登録することができます。郵送での照会となるため、代理人の方が申請した日から数日後の登録となります。
- ▶印鑑登録をされた方には、印鑑登録証をお渡しします。印鑑登録証を窓口で提示していただき、交付手数料を納めていただくことで、ご本人はもちろん代理人の方も印鑑登録証明書の交付を受けることができます。提示がなければ、ご本人が登録印を持参して窓口いらしても交付することはできません。

印鑑登録証(カード)をお持ちの方へ

- ▶①の黄色い印鑑登録証を現在もお持ちの方は、ご都合のよろしいときに印鑑登録証と登録印を総合サービス室にお持ちいただき、②のカードへの切り替えをお願いします。(手数料はかかりません)
 - ▶②のカードが割れてしまった場合は、割れたカード(登録番号が分かる状態)と登録印を総合サービス室にお持ちいただければ、新しいカードに無料で交換することができます。
- ※手続きは代理人の方でもできますが、その場合も切り替えをする印鑑登録証と登録印が必要です。代理人の方の印鑑は必要ありません。



問い合わせ先/役場環境生活課総合サービス室 ☎ 4 8 2 - 2 9 3 4 (課直通)

9月1日は防災の日です

防災ワンポイントコーナー

本町は直下型地震が道内で最も多い地域 地震に対する備えを万全にしましょう

9月1日は「防災の日」です。防災の日の由来をご存じですか。

1923年(大正12年)9月1日午前11時58分44秒、相模湾で大地震が発生。東京都を中心に千葉、埼玉、静岡、山梨、茨城、長野、栃木、群馬の各県に甚大な被害をもたらしました。死者・行方不明者合わせて14万人超、倒壊家屋は約26万戸、焼失家屋約46万5,000戸。また、地盤の隆起が最大で182cm、地盤の水平移動は最大4mにも及ぶとともに、丹沢・伊豆・箱根の山岳部では山崩れ、山津波が発生し、海岸部では津波も発生しました。

1959年(昭和34年)9月26日～27日には伊勢湾台風が発生。近畿、東海地方を中心とする39都道府県において、死者・行方不明者5,000人以上、負傷者約4万人の他、家屋倒壊・流出など4万戸以上、船舶被害約1万4,000隻という大きな被害となりました。

これらにより、関東大震災が起きた9月1日を地震のみならず台風や自然災害に備えるための重要な日として、1960年(昭和35年)に内閣閣議において「防災の日」と制定しました。

道東では、千島海溝・日本海溝型の地震が、釧路・根室・十勝沖で頻発しています。1993(平成5)年の釧路沖地震では、本町も道路や家屋に被害が発生しています。また本町は、内陸型地震(直下型地震)の発生件数が道内で最も多い地域だといわれています。

被害が大きかった地震として、1938年(昭和13年)の屈斜路地震、1959年(昭和34年)のペケレ地震、1967年(昭和42年)の弟子屈地震が有名です。当時の観測震度は4～5となっていますが、実際には5強～6弱くらいの被害だったといわれています。

直下型地震が発生した年	地域・震度
1938(昭和13)年 屈斜路地震	弟子屈 / 4
1953(昭和28)年	弟子屈・屈斜路 / 4
1959(昭和34)年 ペケレ地震	弟子屈 / 5・川湯 / 4
1961(昭和36)年	弟子屈・川湯 / 4
1965(昭和40)年	弟子屈・川湯 / 4
1967(昭和42)年 弟子屈地震	アイヌコタン・和琴 / 5
1982(昭和57)年	川湯・美留和 / 4

地震は、いつ発生するか予測がほとんどつかない自然災害です。普段から、ご家庭で予防対策を立て、避難準備品の整備をしておくことが大切です。

災害時の対応についての詳細や、非常時の持ち出し品などは、広報でしかが6月号と一緒に配布した「弟子屈町防災ガイドブック」の12～16ページに詳しく記載しています。今一度、ご確認ください。

9月1日の防災の日には「役場職員による電話伝達訓練」以外に訓練の予定はありませんが、10月29日(木)には「弟子屈町総合防災訓練」を行います。弟子屈中学校を避難所として、役場職員のほか、同中学校近隣の住民の皆さん、弟子屈町女性団体協議会、弟子屈消防署、弟子屈警察署、陸上自衛隊、防災協定を締結している一部の団体・企業に参加していただく予定です。避難所訓練に参加を予定(案内)しているのは、美羅尾が丘自治会と湯の島自治会ですが、この機会に参加を希望する自治会・学校・施設・機関がありましたら、下記までご連絡ください。



問い合わせ先/役場総務課情報防災係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 2 (課直通)

新しいALT(外国語指導助手)が着任しました

初めまして!ウィル&ダニです

前任のウィリアム・チェサーさん、エリック・オールドさんの後任の外国語指導助手として、アメリカからクラーク・ウィリアムさん(写真左)とフラド・ダニさん(同右)が着任しました。

新学期から、町内の小学校や中学校で、先生の助手として英語指導を担当しています。授業以外にも、いろいろな行事や活動のお手伝いをさせていただきたいと思います。また、小・中学校のほか、高校や保育園・幼稚園などにも訪問させていただきたいと思います。

本町での生活は初めてですが、早く溶け込み、皆さんとのコミュニケーションを積極的に図ろうと意欲的です。どうぞよろしくお願いいたします。

クラーク・ウィリアムです。南フロリダ出身で、南フロリダ大学を卒業しました。23歳です。趣味はハイキングと読書です。文章の編集も得意です。将来の夢は、大学院を卒業して大学教授になることです。ウィルと呼んでください。皆さん、よろしくお願いいたします。

1991年5月29日生まれ
サラソタ(フロリダ州)出身



Kulha William Warren

Frado Dani

フラド・ダニと申します。ロサンゼルスから来ました。24歳です。アメリカの創価大学卒業です。趣味は剣道と映画鑑賞。ボクシングもします。将来、日本でレストランを始めるのが夢です。ダニと呼んでください。どうぞ、よろしくお願いいたします。

1989年9月25日生まれ
ロサンゼルス出身

問い合わせ先/町教育委員会指導室 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 5 (課直通)

町のホームページがスマートフォンに対応



町の公式ホームページが、スマートフォンでもみられるようになりました。急速に普及しているスマートフォン利用者の方の利便性や操作性の向上が目的です。見やすく利用しやすいよう、スマートフォンでの表示に最適化させたものです。

町の公式ホームページにスマートフォンでアクセスすると、スマートフォン用に最適化されたレイアウトで表示されます。町の情報を、いつでもどこでも、お気軽にご覧いただくことができます。ぜひ、ご利用ください。

▶アクセス方法

スマートフォンで町公式ホームページ(URL <https://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>)にアクセスしてください。

「弟子屈町」で検索するか、下のQRコードをバーコードリーダーで読み取ってアクセスすることもできます。

※一部ページが最適化に対応していない場合があります。

(図書館の蔵書検索や表形式の情報など)

スマートフォン上で見づらい場合がありますが、ご了承ください。

※スマートフォン上で、パソコン版の画面をご覧になることも可能です。ページの下部にある「表示: スマートフォン | PC」の切り替えボタンをタップ(触れる)すると、表示が切り替わります。



ブロードバンド活用で快適な情報通信サービス

弟子屈町は、光ファイバー網の整備によって町内全域がブロードバンド化(ネットワーク回線の高速化)されています。これにより、超高速インターネットやケーブルテレビ(地上デジタル放送難視聴地域用)が快適に利用できるようになっています。

インターネットを使ったさまざまなサービスが広がっています。好きな音楽を購入して自宅のパソコンにダウンロードして楽しんだり、見逃したテレビ番組のオンデマンド配信を利用するなど、光ファイバーによるインターネット環境を活用し、情報通信サービスを積極的にご利用ください。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

▶ブロードバンドとは

ブロードバンドとは、直訳すると「広い幅」という意味です。例えば、幅の広い道路では一度に多くの車が通れるように、音楽や高画質の映像など、容量が大きなデータを高速で送ることができるのがブロードバンドの特長です。



問い合わせ先/役場まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

絵本作家

元あさひ山動物園飼育員

主催/弟子屈町子ども読書活動推進実行委員会 協力/子どもに夢を実行委員会

「あらしのよるに」・映画『じんじん』の絵本などで知られる

あべ弘士さん

講演会 & ワークショップ

どうぶつを語ろう! 描こう!

～地球はどうぶつでいっぱいだ～

9月13日(土) 社会老人福祉センター



□講演会 10時30分～正午

- ▶対象/興味のある方どなたでも
- ▶定員/100人(事前申し込み不要)
- ▶参加料/無料

※託児を行います。希望する方は、9月10日(木)までに電話で申し込みください。

※終了後にサイン会を行います。事前に絵本をご購入の上(お1人1冊のみ)ご持参ください。(会場での絵本の販売は行いません)

□ワークショップ 13時30分～15時

- ▶対象/5歳以上の方(保護者同伴可)
- ▶定員/50人
- ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ▶参加料/無料
- ▶持ち物/鉛筆・消しゴム・色鉛筆またはクレヨン
- ▶申し込み/9月10日(木)までに電話で申し込みください。

申し込み・問い合わせ先/弟子屈町図書館 ☎ 4 8 2 - 1 6 1 6

川湯小学校 地域参観日のご案内

9月4日(木) 13時35分～14時20分

5時間目の授業をご覧ください。

1年生 5人	2年生 7人	3・4年生 12人	5・6年生 14人
-----------	-----------	--------------	--------------

どうぞ、お気軽にご来校ください。おじいちゃん、おばあちゃん、おじさん、おばさん…おそろいで!!

問い合わせ先/川湯小学校 ☎ 4 8 3 - 2 0 4 1



飼い犬には狂犬病の予防注射を！

狂犬病予防法に違反すると罰金を科せられる場合があります

狂犬病予防法により、次のことが義務付けられています！違反すると20万円以下の罰金の対象になります。

- お住まいの市区町村に飼い犬を登録すること。
- 飼い犬に年1回の予防注射を受けさせること。
- ▶犬の登録先／役場環境生活課生活係 ☎ 4 8 2 - 2 9 3 4 (課直通)
- ▶予防注射実施先
 - 釧路地区農業共済組合弟子屈支所 ☎ 4 8 2 - 2 5 7 1
 - 三城家畜病院 ☎ 4 8 2 - 2 9 5 5



※町外の動物病院で注射をした場合は、役場への届け出が必要です。

飼い犬のフンはきちんと処理！

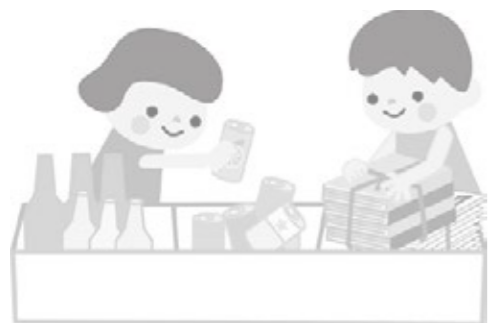
犬の散歩時のフンの放置は、周辺の方々に迷惑になるばかりでなく衛生面でも悪影響を及ぼします。必ず飼い主の方が持ち帰り、処理してくださいをお願いします。

自分の敷地内だからといって、フンなどを散らかしたままにしておくこともやめましょう。



問い合わせ先／役場環境生活課生活係 ☎ 4 8 2 - 2 9 3 4 (課直通)

サイクルのすすめ



普段、何気なく捨てているそのごみ。きちんと分ければ資源になるかも？
ごみ袋代がお得になる資源ごみの分別を覚えて、地球にも家計にも優しくなりましょう！

衣替えの時期が近付いてきました！

9月に入り、過ごしやすい日が多くなります。そろそろ衣替えや、夏に大活躍してくれた衣類の処分を検討されている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。



ジャージやジーパン、革製品などは今まで「燃やせるごみ」でしたが、4月から分別区分が変わり「資源ごみ(衣類)」として出せるようになりました。整理をする際は再確認してみましょう。

ワンポイント

資源回収ボックスを使えば、指定ごみ袋を使わなくても衣類を処分することができます。

▶設置場所／役場正面玄関、川湯支所、屈斜路研修センター、美留和处理場

問い合わせ先／役場環境生活課環境係 ☎ 4 8 2 - 2 9 3 4 (課直通)

野菜をもお〜っと食べましょう！

お手軽野菜料理レシピ

ピーマン

ピーマンという名前は、フランス語で唐辛子を意味する言葉の発音に由来するそうです。ピーマンと唐辛子は熱帯アメリカ原産の同じ種で、ピーマンは江戸時代初期ころには渡来していたそうです。

ジャンボピーマン(パプリカ)は普通のピーマンに比べて大きく、甘くて汁気が多いのが特徴です。色も赤、黄、オレンジ、紫、黒、白、緑など、とてもカラフルです。ピーマンを苦手なお子さんもいらっしやると思いますが、ジャンボピーマンを使って親子でピーマン料理にチャレンジしてみたいかたがでしょうか。

いろいろ野菜のサラダ

【材料(2人分)】

●ジャガイモ	中1個
●ズッキーニ	小1本
●ニンジン	1/2本
●オクラ	4本
●ジャンボピーマン(黄)	1/4個
●ロースハム	3枚
●プロセスチーズ	30g
●好みのドレッシング	適量

【作り方】

- ①皮をむいたジャガイモは1cm厚さの一口大に切る。ズッキーニとニンジンは1cm厚さの輪切り、オクラは斜めに切る。ジャンボピーマンは大きめの一口大に切る。
- ②耐熱容器にジャガイモとニンジン、オクラを入れ、ラップをして電子レンジで好みのやわらかさになるまで加熱する。ズッキーニとジャンボピーマンを加えて、さらに1分くらい加熱する。
- ③②の粗熱が取れたら一口大に切ったハムとチーズをあえ、好みのドレッシングをかけていただく。

三色ピーマンのごまみそあえ

【材料(2~3人分)】

●ジャンボピーマン(赤・黄・緑)	各1個
●塩	適量
●すりごま	大さじ2~3
●みそ	大さじ2~3
●砂糖	少々

【作り方】

- ①ジャンボピーマンは種とヘタ、中の白い部分を取ってから、横に薄切りにする。
- ②ごまとみそ、砂糖をよく混ぜ合わせる。
- ③塩を入れた湯で①をさっとゆで、ザルにあげて水気を切る。熱いうちに②をあえる。

ピーマンフライ

【材料(2人分)】

●ピーマン	2個	
●ジャンボピーマン(赤・黄)	各1/4個	
A {	●小麦粉	大さじ2~3
	●でんぷん	大さじ2~3
	●粉チーズ	大さじ2~3
	●水	大さじ3~4
	●塩	少々
●パン粉	適量	
●油	適量	
●好みの調味料(ケチャップなど)		

【作り方】

- ①ピーマンは1cmくらいの幅の輪切りにして種を取る。ジャンボピーマンも同じくらいの大きさに切る。
- ②Aを混ぜ合わせ、①をからめてパン粉をまぶす。
- ③170℃くらいに熱した油で②を2~3分くらい揚げる。好みの調味料をつけていただく。
※衣にチーズを入れているので、子どもでも食べやすくなります。



問い合わせ先／役場健康推進課健康推進係 ☎ 4 8 2 - 2 9 3 5 (課直通)



更科源蔵(さらしなげんぞう)
●1904(明治37)年、弟子屈町熊牛原野(南弟子屈)に生まれ、1985(昭和60)年に81歳で逝去。東京麻布獣医学校を中退した後、尾崎喜八、高村光太郎に師事し、詩作を中心に郷土史、アイヌ文化研究など主に文学活動を行った。
▶弟子屈町で所蔵しているさまざまな資料を紹介する。

著書の検印などに使っていた自作のエゾシカ印



『ふるさと 北から南から 1 北海道地方』

1969(昭和44)年。6月にシベリアの旅に出かけ、8月には編集した『千歳市史』に中傷記事を記載したとして名誉毀損で告訴され、11月には盟友・伊藤整の告別式に参列するなど、更科にとつて慌ただしい1年でした。そんな年の暮れに『ふるさと 北から南から 1 北海道地方』が、さ・えら書房から刊行されています。

『日本書記』に書かれている北海道のことから、和人が開拓に入り込む前のアイヌの人々の暮らし、和人の開拓のこと、草花や動物・地理などの自然のこと、地域の産業や祭り、地名の由来など、北海道はもとより、道外の小学校中・高学年の児童が理解できるように工夫された内容です。

「たしかに五十年ほどまえの北海道は、ふぶきになると家の中に雪がふきこみ、ねている上に十センチもの雪がつもつて、その上をねずみが走った足あとなどもありませんでした」と、更科自身が体験したであろう明治開拓のころのことや、和人とアイヌの人たちの考え方の違いを「南のあたたかい地方からきた日本人と、寒い地方にながらいだ生活していたアイヌの人たち

との、もの考えかたもちがっています。あたたかい国の日本人は水がおれば氷になると思いますが、寒い土地のアイヌの人たちは、氷がとけると水になるのだと考えていました」という文で表現し、開拓民が雪を溶かして飲み水を作っている写真を文中の挿絵で紹介しています。

この年の前後で、成人旅行者向けに近畿日本ツーリストが発行していた雑誌「あるく・みる・きく」で北海道の魅力を紹介するなど、本稿第112回で紹介した著述も含め、北海道を、ふるさとを愛する更科のこだわりが表現されています。この本も重版増刷されて、1979(昭和54)年で第9刷となる人気の本でした。『更科源蔵書誌』小野寺克己(編)から

ちなみに『千歳市史』の名誉毀損事件は、この年の11月に千歳警察署の事情聴取を受けますが、翌年、不起訴処分となりました。しかし、北海道のことをよく知り、市井の人々の視線で北海道を文章で語り『斜里町史』『弟子屈町史』など多くの市町村史を執筆してきた更科は、これ以降、北海道の市町村史を手がけることはありませんでした。



図書館だより

中央2丁目4番1号
☎(よいほんいろいろ) 482-1616

☆絵本作家・あべ弘士さん
講演会&ワークショップ
どろぶつを語るうー描こう！
地球はどろぶつでいつばいだ

9月13日(土)に社会福祉老人センターで開催します。詳しくは13ページをご覧ください。

☆特集展示『おとなにも絵本を！』
大人になってから絵本を開いてみる。子どもの時とは違った感動を得る瞬間があります。経験を重ねたからこそ、絵や言葉、行間から漂う何かに心を強く動かされるのではないのでしょうか。絵本なんて...と思わず、これを機に、まずは1冊、絵本の世界に触れてみませんか？

▼期間/9月2日(火)~9月30日(火)
▼場所/特集展示コーナー
▼今月の休館日
1日(月)・8日(月)・15日(月)(敬老の日)・22日(月)・23日(火)(秋分の日)・29日(月)

新刊案内

- 「ポケットに物語を入れて」 角田 光代/著
 - 「叱られる力・聞く力2」 阿川佐和子/著
 - 「いい感じの石ころを拾いに」 宮田 珠己/著
 - 「1日3杯のコーヒーが人を健康にする！」 安中 千絵/著
 - 「伊礼智の『小さな家』70のレシピ」 伊礼 智/著
 - 「みんなのおうちカレー」 柴田書店/編
 - 「夢と希望の三陸鉄道・全線運行再会記念写真集」 中井 精也/撮影
 - 「遺譜 浅見光彦最後の事件 上・下」 内田 康夫/著
 - 「銀翼のイカロス」 池井戸 潤/著
 - 「のっぺらぼうのおじさん」 そうま こうへい/著
- たくさんのお待ちはお待ちしています！

てがみぼうやのゆくところ

加藤 晶子/作
「おばあちゃんのいえにとどきますように」男の子がおばあちゃんへあてた手紙。「まかせておいて！」とはりきって出発した『てがみぼうや』あれ？ちょっとだけ寄り道のはずが...ほっこりと、あたたかい気持ちになる絵本です。

おすすめの
新刊

EMC通信

～川湯の森から～



絶景に会いに摩周岳へ

今月は、町内一番長い登山道である摩周岳登山道を紹介します。摩周岳はアイヌ語で「カムイヌプリ」(神の山)とも呼ばれ、アイヌの人々の崇拜を集めてきた山です。約1千年前に噴火してできた爆裂火口の一角である標高857mが頂上となり、

暑過ぎず、寒過ぎず、虫の多くないこの時期は...

どが大いに発生しますが、秋に近づくにつれ快適に歩けるのが摩周岳の登山道です。

片道7.2kmの登山道の入り口は、摩周第1展望台レストハウス脇にあります。摩周カルデラの外輪山に沿って道が伸びているため、登りは比較的多くないですが、最後の数百mは急な登りが続きます。自信のない方は、4.2km地点にある風衝平原で折り返すのもオススメです。頂上からは、普段とは違う摩周湖や根釧台地、斜里岳、阿寒の山々も望むことができます。

昨年、今年と環境省が登山道を整備。道を覆うササも、町内の有志が集まり年2回刈り取って、歩きやすくなっています。体力に自信のある方は、気候が涼しくなってくるこの季節、ぜひ登りに行ってみたいいかがでしょうか。

スタッフ手作り 散策路・登山道 セルフガイドマップ!

阿寒国立公園川湯地域の散策路・登山道のセルフガイドマップを、スタッフが手作りしました。館内で配布しているほか、当館ホームページからもダウンロードできるようになっています。マップを手に取り、最新の情報をEMCスタッフに聞いてから出かけると、より楽しく自然の中を歩くことができます。

- ▶つつじヶ原自然探勝路▶アカエゾマツの森▶青葉トンネル▶和琴半島自然探勝路▶ポンポン山▶藻琴山登山道▶ベケレ山登山道▶摩周岳・西別岳登山道



あなたのお自慢のマップは?

川湯エコミュージアムセンター(EMC) ☎483-4100
URL http://www6.marimo.or.jp/k_emc/ 9月は8:00~17:00開館(無休)

**金須海人君(弟小2年)
卓球で全国大会出場**



全国大会出場を果たした金須君

弟子屈卓球スポーツ少年団の金須海人君(弟子屈小2年)が、5月17日に深川市で開催された平成26年度北海道卓球選手権大会で3位に入賞し、7月25日〜27日に神戸市で開催された平成26年度全日本卓球選手権大会へ出場しました。全国大会では、同クラス182人で予選リーグが開催され、惜しくも決勝トーナメントに進出することはできませんでしたがこれからはつながらない経験となりました。小学生の卓球で全国大会に出場するのは、本町で初めてのことです。

つながらない経験となりました。小学生の卓球で全国大会に出場するのは、本町で初めてのことです。

**第35回美羅尾山ろく完走
マラソン大会参加者募集**

- ▶期日/10月13日(月) 体育の日
- 受け付け/8時45分〜
- 開会式/湯の島寿の家前 9時30分
- 競技開始/10時
- ▶コース/市街地釧路川沿線
- らくらくコース(1キロ)
- ほのぼのコース(3キロ)
- さわやかコース(5キロ)
- ▶参加資格/小学生1年生以上の町民の方。(家族で参加するお子さんに限り3歳以上)
- ▶参加料/無料
- 申し込み・問い合わせ先/町教育委員会社会教育課体育振係 ☎482-2948(課直通)まで。



昨年の大会の様子

**公民館講座
ワンちゃんのしつけ**

犬の習性や気持ちを知り、愛犬と楽しく暮らすため、マナーやしつけを学びませんか。ワンちゃんレッスンや相談会、ミニゲームなどを行います。
▼日時/9月20日(土) 10時〜正午
▼場所/役場前駐車場
※雨天時は、町公民館 研修室で講話と質疑応答を行います。
▼講師
●嘱託警察犬指導手 立花栄治氏
●アシスタント 近江屋妙子氏
▼対象・定員/町内にお住まいで犬を飼っている方・15人
▼愛犬を伴う場合の持ち物/首輪とリード(ロングリード)・ご褒美のおやつ・愛犬が好きなおもちゃ・排便の後始末用品・飲み水
※愛犬を伴わずとも参加できます。
▼申込締切日/9月12日(金)
□申し込み・問い合わせ先/町公民館 ☎482-2340まで。

映画『じんじん』鑑賞会

人の優しさと親子の絆を描いた映画『じんじん』の鑑賞会を開催します。「絵本の里」として知られる剣淵町が物語の舞台。温かな感動と優しい気持ち、じんじんと広がっていく映画です。
▼主催/映画『じんじん』弟子屈町上映実行委員会
▼期日/10月4日(土)
▼時間/①10時30分〜12時40分 ②13時30分〜15時40分(託児あり) ③19時〜21時10分(託児あり)
※開場は各上映時間の30分前。
▼場所/社会老人福祉センター
▼入場料/1千円(特別鑑賞券)
▼チケット取扱所/弟子屈町公民館・弟子屈町図書館・川湯屋内温泉プール
□問い合わせ先/町教育委員会社会教育課社会教育係 ☎482-2948(課直通)まで。

**北海道の名付け親
松浦武四郎が見た
弟子屈**

北海道の名付け親である、幕末の探検家・松浦武四郎は弟子屈の美しさを絶賛しています。武四郎は弟子屈で何をみて、何に感動し、何を考えたのか…。武四郎の出身地、三重県松阪市にある記念館の名譽館長に講演していただきます。
▼日時/10月8日(水) 19時〜20時30分
▼場所/町公民館 講堂
▼講師/三重県松阪市 松浦武四郎記念館名誉館長 高瀬英高氏
▼対象/町民の方
※人数制限はありません。
▶参加料/無料
□問い合わせ先/町教育委員会社会教育課社会教育係 ☎482-2948(課直通)まで。

**ふれあいスポーツin
サッカークラス**

少年サッカー教室「ふれあいスポーツinサッカークラス」が、7月21日に開催されました。講師は、クーパー・コーチングサッカースクール札幌校の柴田拓也氏と金子周平氏。参加者は小学校低学年と高学年、中学生に分かれ、個人の技術を向上させるための基本的な動作のほか、実践的な練習などについて指導を受けました。また、講師の個人技の素晴らしさに、参加者から歓声が上がりました。



サッカーの技術向上を目指して



仲間と息を合わせて

8月の「まぎがい講座」で学んでいます。8月のまぎがい講座は8日、弟子屈・川湯学級の合同室内小運動会を開催しました。

川湯青少年会館で行いました。紅白に分かれ、ヨーヨー釣りや玉入れなど10種目ほどの競技に挑戦。大いに笑い、楽しみながら、両学級の交流を図りました。
▼今月のまぎがい講座
●弟子屈学級/室内運動会を楽しもう(9月18日(木) 奥春別交流センター)
●川湯学級/「鶴居村高齢者大学とのスポーツ交流会」(9月19日(金) 鶴居村パークゴルフ場)

「まぎがい講座」で学んでいます
8月のまぎがい講座は8日、弟子屈・川湯学級の合同室内小運動会を開催しました。

「まぎがい講座」で学んでいます
8月のまぎがい講座は8日、弟子屈・川湯学級の合同室内小運動会を開催しました。

「まぎがい講座」で学んでいます
8月のまぎがい講座は8日、弟子屈・川湯学級の合同室内小運動会を開催しました。

**奥村幸治さんによる
少年野球教室**



熱い指導に聴き入る子どもたち

奥村幸治さん(NPO法人ベースボールスピリッツ理事長)の野球教室と講演会が8月13、14日の両日、開催されました。町営球場で開催された野球教室では、ニューヨークヤンキースのイチロー選手や新庄剛選手、松井稼頭央選手の打撃投手、田中将大投手の中学時代の監督を務めた経験を通して、プロ野球選手への考え方や練習方法などを指導。子どもたちが熱心に聴き入っていました。

**町内の野球振興を目指し
交流会**

弟子屈町野球馬鹿男祭り(大道賞、二発起人代表)が8月10日、町営球場で行われました。弟子屈高校校統のためにも、同校野球部が管内の強豪校となるよう、同部OBや町民の皆様と協力体制強化を目指すもので、今回で3回目。野球経験者など80人が、試合やバーベキューなどで交流しました。



町内の野球振興のために

公民館ロビー展

7月22日から31日まで、公民館洋裁講座受講生作品展が開催されました。いろいろな生地を使って作られたチュニクが展示され、ロビー全体が夏らしく涼しげになりました。訪れた方々からは「自分もぜひ作ってみたい」との声も聞かれました。
▼9月のロビー展
▼夏休み児童・生徒作品展/町内小・中学生が夏休みに取り組んだ作品が展示されます。9月17日(水)〜25日(木)



ロビーを彩る色とりどりのチュニク

**ALL釧路学力向上八策
Study & Sports キャンパス**

道教育庁釧路教育局と町教育委員会主催の「スタディ&スポーツキャンパス」が8月2日、摩周観光文化センターで開催されました。
町内小・中学生と保護者約40人が参加。児童・生徒は、道教委が制作したチャレンジテストに取り組みました。保護者の方には、釧路教育局の田中賢一教育支援課長が中心となり家庭教育についての講話が行われました。その後、体を動かした、ストレッチやゲームなどで楽しく交流しました。



楽しみながら交流を深める

**田口暢秀氏による
ストレッチ教室**



実践を通して自分の体を見つめ直す

釧路労災病院の田口暢秀理学療法士によるストレッチ教室(スポーツ合宿誘致委員会主催)が、8月9日に開催されました。

釧路江南高校バスケット部の本町での合宿に合わせて、同部トレーナーである田口氏や顧問の沖監督、推井トレーナーの協力により開催した。参加者の皆さんは、バスケット部員による手本を見ながら、筋肉がどれだけ硬いか、関節の可動域がないかなどを、自分の体を動かしながら確認しました。

豪校となるよう、同部OBや町民の皆様と協力体制強化を目指すもので、今回で3回目。野球経験者など80人が、試合やバーベキューなどで交流しました。

また、バーベキューの収益金10万7千500円から、弟子屈高校野球部に8万8千6百80円、弟子屈中学校野球部に2万円、摩周ジャガーズにボール1ケースを寄附しました。大道代表は「今後も継続していきたい」と話していました。



講演を行う原教授

人口減少下のまちづくり考える

人口問題フォーラム



公開ディスカッションでそれぞれの持論を展開

人口問題フォーラム「人口減少下のまちづくり」(町・町教育委員会主催)が8月21日、町公民館で開催されました。

1960年の1万3千262人をピークに、その後減少に転じ、現在も減り続けている本町の人口。なぜ減っているのか傾向を分析するとともに、そのメカニズムを知り、今後のまちづくりに生かすのが目的です。町民の方など130人が集まりました。

初めに、札幌市立大学デザイン学部教授で日本人口学会の会長でもある原俊彦氏が「弟子屈町の人口と今後の将来を考える」と題して講演。人口の変化には市町村の個性が表れるとした上で「弟子屈町に限ったことではないが、今後も人口減少は避けられない。その中でまちをどのようになりたいのか、はつきりさせるべき。減少していく時代に合わせて、人が減っても住みやすさを維持する方策を考えることが重要」と話しました。

その後、原教授をファシリテーターに、徳永町長、須藤直武氏(美留和・町移住アドバイザー)、木名瀬佐奈枝氏(札友内・町総合計画評価委員)をパネリストに迎え「人口減少時代のまちづくり」をテーマに公開ディスカッションを展開。活発な意見が交わされ、参加した皆さんも熱心に聴き入っていました。

フォーラムの詳細は、広報てしかが10月号で紹介されます。

本町の馬が大活躍

第105回釧路種馬共進会



1席に輝いた守屋さんと桜姫号

平成26年度第105回釧路種馬共進会が7月28日、釧路農協連共進会場で開催されました。

本町からは4頭が出陳され、そのうち3頭が全道大会への切符を手に入れました。大会は全6部門からなり、本町から出品した4頭は全て、第1部(1才雌)への出陳です。

審査結果は次のとおりです。

▼第1部
▽1等賞1席/桜姫号(守屋博さん所有)
▽1等賞2席/桜花姫号(藤田千代さん所有)
▽2等賞1席/福姫号(藤田千代さん所有)

守屋さん所有の桜姫号は、各部1位による最高位決定戦に出馬しましたが、惜しくも最高位を取ることはできませんでした。

全道種馬共進会は、全道各地区の子選を勝ち抜いた優秀な馬たちが集う、4年に1度の一大イベントです。全道大会でのさらなる活躍を期待しています。

全道種馬共進会は、9月6・7日の両日、十勝農協連家畜共進会場(音更町)で開催されます。お近くにお出かけの際は、迫力ある馬たちの競演をご覧になってはいかがでしょうか。

町の話題



町の話題



町の話題

地元産新そばに舌鼓

第8回JA摩周湖農業祭 たぶん日本で一番早い新そば祭り



名人のそばを満喫(上)
新そばを求めて列をなす皆さん(下)

「達磨雪花山房」の高橋邦弘さんが妙技を披露したほか、そば店コーナーでは「摩周そば生産組合」達磨雪花山房「松風庵(釧路市)」が、弟子屈産のそば粉を使った、打ちたて、ゆでたての新そばを提供。各ブースの前には、摩周の新そばを求める方で長蛇の列ができました。

また、摩周メロンや牛乳などの地場農産物即売、吹奏楽やパトンの公演、牛乳の早飲みやドーナツ、摩周そばの早食いなど多彩なイベントも行われました。

JA摩周湖(川口覚組合長)と摩周そば生産組合(猪狩昭組合長)が主催する「第8回JA摩周湖農業祭 たぶん日本で一番早い新そば祭り」が8月23・24の両日、JA摩周湖前で開催され、町内外から訪れた多くの方でにぎわいました。

そば打ち名人として名高い広島県



8月1日 第1便の出発



川湯駅のエコパスステーション

エコパスポートで環境に優しい旅を

摩周・屈斜路環境にやさしい観光交通がスタート

弟子屈町地域公共交通活性化協議会(会長・徳永町長)が行う、弟子屈エコパスポート事業が、今年も8月1日に始まりました。

エコパスポート事業は、観光交通実証運行として2009年に開始。2012年度から町単独事業として本格運行しました。エコパスポートは、町内路線バスと摩周湖バス、屈斜路バス、期間限定ジャンボタクシーが、金額に応じて2・3・5・7日間乗り放題(乗り降り自由)というものの。昨年に引き続き町民専用エコパスポート(運行期間内、定額で乗り放題)も用意され、公共交通機関を利用した環境に優しい旅の提案と、地域公共交通の活性化を目指します。昨年は約2千人の方に利用いただき、好評を得ました。

今年も10月26日(日)まで、エコパスポートの販売を行います。町民専用エコパスポートは、役場環境生活課と川湯支所で購入できます。ぜひ、利用してみませんか。

8月2・4日

地域の役に立ちたい 佐藤建設工業が弟子屈墓地で草刈り

手際よく墓地内の草刈りを実施



(株)佐藤建設工業(佐藤洋司代表取締役)の皆さんが8月2・4の両日、弟子屈墓地内の環境整備を行いました。

お盆を迎えるにあたり、お墓参りに訪れる皆さんが気持ちよく利用できるようにと、社会貢献活動の一環として行ったもの。日々の道路維持作業における機動力を生かし、手際よく墓地内の草刈りを行いました。

8月1日～

写真とポスターで時の流れを感じて 川湯エコミュージアムセンター2階で企画展

古き良き時代に思いをはせる



川湯エコミュージアムセンターの2階ギャラリーで8月1日から「阿寒国立公園指定80周年記念 写真とポスターで見る時の流れ～松葉末吉と種市佐改～」が行われています。

松葉氏は、川湯でバスの運転手をしながら昭和初期の様子を撮影したアマチュアカメラマン。開通間もない阿寒横断道路や、大勢で道路除雪をしている場面など12枚の写真が展示されています。種市氏は初代弟子屈図書館長を務める傍ら、鉄道切符や記念スタンプなどを収集した人で、そのうちの16枚の観光ポスターが並んでいます。訪れた方は、貴重な資料に興味深く見ていました。9月30日まで行われていますので、一度ご覧になってみませんか。

8月7日

弟子屈の人と自然に癒されて 川崎市の申橋さん親子が毎年来町

アイスクリン作り体験を楽しみ申橋さん(左から2人目)



川崎市にお住まいの申橋晶子さんとお母さんが、ここ数年来、毎年本町を訪れ、地域の皆さんとの交流を深めています。

体が不自由なお母さんの避暑を兼ねたりハビリ先を探していた際、弟子屈にはエコパスポートがあること、エコパスポートで乗られるバスの停留所の近くにユニバーサルデザインのホテルがあることが、本町を訪れるきっかけとなったそう。豊かな自然はもとより、地域の皆さんに親切にもらったことですっかり弟子屈が気に入り、友人や叔母なども誘って毎年1週間程度滞在。「来年以降もずっと来たい」と話していました。

8月3日

親子で木工に挑戦 林業多目的センターで夏休みトンカチ広場

すてきな作品出来ました



町と町森林組合共催の木工教室「切ってたいて工作しよう～夏休みトンカチ広場～」が8月3日、林業多目的センターで行われました。

子どもたちの夏休みの工作の参考にと開催されているもので、今年で18回目。建設現場で残った角材やベニヤ板などを活用して、巣箱などを作る催しです。今年も木製のゲームを作るキットのあっせんも行われました。参加した小学生とその保護者など約50人は、思い思いの作品作りに熱中していました。

8月14・15日

宝くじコミュニティ助成事業で新しいやぐらを整備 川湯温泉観光盆踊り大会でお披露目

新しいやぐらを囲んで盆踊り



川湯温泉の短い夏の終わりを告げる観光盆踊り大会が8月14・15日の両日、川湯神社境内で盛大に開催されました。地元はもとより、川湯温泉に宿泊している大勢の観光客の皆さんも見物に訪れ、踊りの輪に加わり、過ぎ行く夏を楽しんでいました。

今年は宝くじの助成金で新調されたアルミ製のやぐらがお披露目され、一際目を引いてました。(財)自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業を利用したもの。宝くじの受託事業収入を財源として実施している、コミュニティ助成事業です。

8月10～31日

トドマツでコースターやはがきを作ろう 川湯エコミュージアムセンターで夏休み特別企画

はがきをデザインする子どもたち



川湯エコミュージアムセンターで8月10日から31日まで、夏休み企画「道内産トドマツでコースター&はがき作り体験」が行われました。

柔らかく加工しやすい道内産トドマツの板を使い、自然に触れ合いながら創作を楽しんでもらおうというものです。焼きゴテを使って木の板に自分の好きなデザインを描く作業は、子どもだけではなく大人も夢中になって手を動かしていました。体験した方は、絵のほかに日付や名前、メッセージなどを入れて持ち帰りました。木のはがきは実際に郵送できるということで、満足した様子でした。

7月24日

6～7月の好天で例年になく上出来 摩周メロン豊穡祭

メロンカットで豊穡を祝う



摩周メロン生産組合(藤田重太郎組合長)の「豊穡祭」が7月24日、町農産物集出荷センターで行われました。

豊穡祭では、川口覚摩周湖農協組合長と藤原将男弟子屈郵便局長、吉備津副町長がメロンカットを行い、摩周メロンの出荷を祝いました。摩周メロンは同組合の8戸の農家が生産。同センターと摩周湖農協、道の駅「摩周温泉」、郵便局の「ふるさと小包」だけの取り扱いで、市場にはほとんど出回らないため、幻のメロンとも言われています。形、糖度共に例年になく良い出来で、9月上旬まで約2万玉の出荷を予定しています。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

7月25日

長年の人権擁護活動に対する功績たたえ 小澤修子さんに法務大臣からの感謝状

左から徳永町長 小澤さん、前川課長



長年、人権擁護委員として活動し、今年の6月に退任した小澤修子さん(南弟子屈)に、法務大臣からの感謝状が贈られました。

贈呈式は7月25日、役場で行われ、釧路地方務局の前川勝行人権擁護課長から小澤さんに感謝状が手渡されました。小澤さんは2005年7月から2014年6月まで、3期9年にわたり人権擁護委員として活躍。人権擁護活動と人権思想の普及・高揚に功績があったとして、今回の受賞となりました。

7月25日

平和の尊さを忘れない 戦没者追悼式で誓いを新たに

戦没者の冥福を祈って献花



弟子屈町戦没者追悼式が7月25日、町社会老人福祉センターで行われ、遺族や関係者など約60人の参列者が黙とうをささげました。

徳永町長は「戦争について語られることも少なくなり、平和の尊さが忘れられようとしている今日、遺族の皆さまと共に追悼式を挙行できることは誠に意義深い」と式辞を述べました。その後、参列者一人一人が献花。日本詩吟学院東・北海道岳風会北釧路支部の会員による追悼の吟詠も行われ、平和への誓いを新たにしました。

7月27日

自然公園クリーンデーに合わせて美化活動 パークボランティアらが屈斜路湖畔清掃

手分けして屈斜路湖畔のごみ拾い



環境省と阿寒国立公園川湯地域運営協会、自然公園財団川湯支部、摩周・屈斜路パークボランティアの会員の皆さんなどが7月27日、屈斜路湖東岸の通称マリゴケ浜で清掃活動を行いました。

毎年8月の第1日曜日は「自然公園クリーンデー」。これに合わせて美化清掃活動が行われており、その一環として実施したものです。この日に回収されたごみは、ペットボトルや発泡トレイなどを中心に約12キロ。中には履き古された長靴もありました。参加した皆さんは「想像よりもごみは少なかったが、少ないからいいというのではなく、絶対に捨てないでほしい」と話していました。

7月26・27日

弟中が金賞 弟高、川上シンフォニア・ウィンド・アンサンブルも銀賞 吹奏楽コンクールで町内団体が活躍

金賞に輝いた弟中吹奏部の皆さん



7月26・27日の両日、釧路市で開催された第51回釧路地区吹奏楽コンクール兼第59回北海道吹奏楽コンクール

釧路地区予選大会で、弟子屈中学校吹奏楽部が金賞を受賞しました。同校の金賞受賞は、昨年に続いて2年連続です。同コンクールは、釧路・根室地区の小学校・中学校・高等学校・大学・一般を対象に毎年行われていて、今年は65団体から約1,700人が出場しました。同コンクールではほかに、弟子屈高校吹奏楽部、川上シンフォニア・ウィンド・アンサンブルが銀賞を受賞しています。

川湯消防を一般に開放します

川湯消防・川湯消防団では、川湯消防支署の開放を行います。救急車やはしご車の試乗、消防車からの放水、救命処置などの体験ができます。先着50人大人・小学生以下の子どもに粗品進呈。お楽しみ抽選会も行います。

▼日時／9月21日(日) 10時～正午

※受け付けは9時40分～10時20分(小学生以上の方に抽選券配布)

※雨天決行(悪天候の場合は内容の一部変更・災害発生時は中止)

▼場所／川湯消防支署前(川湯温泉3丁目2・10)

□問い合わせ先／川湯消防支署 予防救急課予防広報係 ☎483・2216まで。

自賠責があなたと家族を守ります

平成25年の交通事故発生件数は約63万件、死傷者数は約79万人。交通事故は人ごとではありません。

自賠責保険・共済は自動車損害賠償保障法に基づき、原動機付自転車を含む全ての自動車1台ごとに加入が義務付けられています。

法務局休日相談所を開設

法務局では、司法書士会・土地家屋調査士会・公証人会・人権擁護委員会と連携して、登記・自賠責保険・共済なしで運行することは法令違反ですので、ご注意ください。

□問い合わせ先／北海道運輸局 釧路運輸支局 ☎0154⑤2514まで。

借金・金融一般相談

北海道財務局の専門の相談員が借金の悩みを聴き、それぞれに合った解決方法を提案します。

預金・融資、保険など、金融商

公証週間

日本公証人連合会本部では、10月1日～7日の公証週間にちなみ、電話相談を行います。

▼日時／10月1日(水)～7日(火) 9時30分～正午・13時～16時30分(土・日曜日実施)

▼電話番号／☎03・3502・8239

休日公証相談を行います

▼日時／9月28日(日) 10時～16時

▼場所／釧路公証人役場(釧路市末広町7丁目2番地 金森ビル)

▼相談内容／遺言、相続、任意後見、尊厳死宣言、お金の貸し借り、貸借、離婚に伴う養育費・慰謝料・財産分与など。

▼相談料／無料

釧路簡易裁判所で市民講座を開催

釧路簡易裁判所では、市民講座「知っていますか？簡易裁判所の民事調停(話し合いで円満解決)」を開催します。

▼日時／10月6日(月) 13時30分～15時40分

▼場所／釧路地方裁判所

▼内容／民事調停制度(一般的な制度や手続き)についての説明、模擬調停、質疑応答、調停室見学

▼受講料／無料

▼定員／30人(先着順)

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

▼申し込み方法／郵送かファクス、電話で申し込みください。電話受け付けは、祝日を除く(用)の8時30分～17時。

▼申し込み・問い合わせ先／釧路地方裁判所事務局総務課庶務係 ☎085・0824 釧路市柏木町4-7 ☎0154④6532 ☎0154⑨1225、1222(直通)まで。

生活情報をみなさんにお知らせ!



- 連絡先
- 役 場 ☎482-2191
 - 川湯支所 ☎483-2043

文化センターガイド 9月 アリーナ町民開放日

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
区	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
分	休						◎	休						◎	休
日	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
区	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
分	休							休					◎		休

◎=全面 休=休館日 (時間帯は18:00～21:00です)

8月10日現在の予定ですので、町民開放利用を希望する方は、文化センターにあらかじめお問い合わせください。

今月の主な行事予定

- 7日 釧路地区小学生バドミントン団体強化練習
- 14日 ソフトバレーボール親睦交流大会
- 18～20日 第48回北海道公立学校教頭会研究大会釧路・弟子屈大会
- 27日 道民芸術祭釧路管内音楽祭
- 28日 弟子屈高等学校バドミントン練習・試合

問い合わせ先 釧路圏周観光文化センター ☎482-1811

高齢者・障がい者の人権あんしん相談

法務省と全国人権擁護委員連合会では、9月8日(月)～14日(日)を全国一斉「高齢者・障がい者の人権あんしん相談」強化週間とし、電話による相談時間を延長して対応します。

▼相談電話番号／☎0570・003・110

▼相談受付日時

- 9月8日(月)～12日(金) 8時30分～19時

女性のためのなんでも相談所開設

性差別による人権侵害の救済を推進するため、女性の悩み事や困り事の相談に応じる「女性のためのなんでも相談所」を開設します。

▼日時／9月20日(土) 13時30分～15時30分(予約不要)

▼場所／浜中町総合文化センター

9月 川湯屋内プールのお知らせ ☎483-2072

- 初心者水泳教室(一般成人)
- ◇日時／7、14、28日 14時～14時45分
- がんばれ水泳教室(25メートル泳げる成人)
- ◇日時／3、5、10、12、17、19、26日 14時～14時45分
- ※今月は送迎バスなし
- 水中運動教室(一般成人)
- ◇日時／④、6、⑪、13、18、25、27日 14時～14時45分
- ※〇は送迎バスあり(13時10分 公民館前発)
- 水中ジョギング教室(一般成人)
- ◇日時／3、10、17日 10時30分～11時15分
- ナイト水中ジョギング教室(一般成人)
- ◇日時／5、12、19、26日 19時～19時45分
- フリー教室(幼児・小学生教室参加の保護者)
- ◇日時／6、7、13、14、27、28日 10時30分～11時15分
- 幼児水泳教室(幼児3～5歳)
- ◇日時／7、14、28日 10時30分～11時15分
- 小学生水泳教室(初めて水泳を習う小学生)
- ◇日時／6、13、27日 10時30分～11時15分
- 選手コース(摩周スイミングスクール所属)
- ◇日時／3、4、5、6、7、10、11、12、13、14、17、18、19、25、26、27、28 15時～17時



- 利用料
- 小・中・高校生／無料
 - 一般／540円(税込み)
- 休館日
- 今月の休館日 (1、2、8、9、16、20、21、22、23、24、29、30日)
- 開館時間
- 10時～17時(水・木・金・土・日)
- 毎月第2・4土曜日は無料開放日!

町営住宅 入居者を募集します

役場では、次の期間で町営住宅入居者を募集します。入居者は、条件を備えている方から、困窮度などに応じて決定します。

- ▶受付期間／9月2日(火)～9月9日(火)(土・日曜日を除く)
 - ▶受付窓口／役場建設課管理係・川湯支所
 - ▶入居時期／9月下旬～10月上旬の予定
 - ▶入居敷金／住宅料(月額)の3倍の額(緑団地単身者用は住宅料の2倍の額)
- ※入居要件、入居基準など、詳しくはお問い合わせください。
 ※入居しようとする方、同居しようとする親族などが暴力団員である場合は、入居が認められません。
 □問い合わせ先／役場建設課管理係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 1 (課直通)まで。

公募対象住宅一覧表					
団地名・構造	建設年度	規模	月額住宅料	戸数	備考
美留和団地(簡易耐火平屋建)	S52	3DK	9,000～13,400円	1	53.61㎡
※緑団地単身者用(中層耐火3階建)	H6	1DK	30,000円	1	47.40㎡(2階)

注1 ※印の団地は、管理費が毎月200～3,000円程度かかります。(団地によって異なります)
 注2 場合によっては募集内容を変更することがありますので、あらかじめご了承願います。

募集 自衛隊各種学生

平成27年4月採用の自衛隊各種学生を募集します。

種目	資格	受付期間	試験日	試験場所
防衛医科大学校医学科学生	高校を卒業した方(見込みを含む)で21歳未満の方	9月5日(金)～9月30日(火)	11月1日(土)・2日(日)	帯広地方協力本部 釧路出張所会議室(3階)
防衛大学校 一般(前期)			11月8日(土)・9日(日)	
防衛医科大学校看護学科学学生			10月18日(土)	道東経済センタービル

問い合わせ先／自衛隊帯広地方協力本部釧路出張所 ☎ 0 1 5 4 ㉔ 1 0 5 3

秋のヒグマ注意特別期間 期間: 9月6日(土)～11月3日(月)

キノコ採りやハイキングなどで、野山へ入る機会が増える季節となりました。秋は、ヒグマによる事故やヒグマとの遭遇が増える季節です。楽しく過ごすためにも、ヒグマによる事故に遭うことのないよう、特に注意をお願いします。

- ▶ヒグマの被害に遭わないために
 - 事前にヒグマの出没状況を確認する／一人では野山に入らない／野山では音を出しながら歩く／薄暗いときには行動しない／フンや足跡を見たら引き返す／食べ物やごみは必ず持ち帰る
- 問い合わせ先／役場農林課林務係 ☎ 4 8 2 - 2 9 3 6 (課直通)・釧路総合振興局保健環境部環境生活課 ☎ 0 1 5 4 ㉔ 9 1 5 4 まで。 http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/yasei/yasei/higuma/shichoson_link_page.htm (道内ヒグマ情報)

森林伐採には森林法の規定による届け出が必要です!

自分の山の木なら自由に切ってもいい。そのように思っている森林所有者の方はいらっしゃいませんか?
 たとえ、あなたの山でも、森林を伐採するときは、市町村森林整備計画に従った適切な施業を確保するため、森林法の規定による「伐採及び伐採後の造林の届出書」の提出が必要です。
 届け出は、保安林を除く地域森林計画対象民有林について、伐採を始める90～30日前までに届出書(伐採面積・伐採期間・伐採の方法、伐採後の造林樹種・造林方法など)を役場農林課林務係に提出してください。
 □問い合わせ先／役場農林課林務係 ☎ 4 8 2 - 2 9 3 6 (課直通)まで。

9月の町税などの納期限

今月の町税などの納期限は次のとおりです。納め忘れのないようにしましょう。

- ▶固定資産税 3期 9月30日(火)
- ▶国民健康保険税 4期 9月30日(火)
- ▶後期高齢者医療保険料 4期 9月30日(火)

夜間納税窓口を開設

日中、仕事などで役場に来られない方々のために、次の日程で『夜間納税窓口』を開設します。ぜひ、ご利用ください。

- ▶開設日／9月24日(水)
- ▶開設時間／午後8時まで
- ▶開設場所 役場庁舎・川湯支所
- 問い合わせ先 役場税務課 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 4 (課直通)まで。



がん予防道民大会を

がんによる死亡者は年々増加しています。道内でも、亡くなった方の3割ががんで、死亡原因の1位となっています。がん予防の正しい知識を身につけていただくため、がん予防道民大会を開催します。

▼日時／10月24日(金) 12時45分～15時15分

▼場所／釧路市国際観光交流センター

▼内容

- ・特別講演「がんと人間と社会」
- ・公益財団法人日本対がん協会 長 元国立がんセンター総長 垣添忠生 氏

釧路短大の履修生と

釧路短期大学では、科目を社会人の方に開放する平成26年度後期科目等履修生・聴講生を募集しています。

科目等履修生は単位を取得することができ、短大卒業以上の方は条件がそろえば、図書館司書・幼稚園教諭・保育士・ベビ

健康講演「ドクターらく朝の笑って笑って、がん予防」落語家 立川らく朝 氏

▼入場料／無料

□問い合わせ先／北海道対がん協会 釧路がん検診センター ☎ 0 1 5 4 ㉔ 3 3 7 0 まで。

- ### 寄附ありがとうございました
- 今野 幸雄 様(美里4) 現金 10万円
 - ▼亡母(今野キヨ)が生前、町にお世話になったお礼として、緊急(救急)車両の整備に役立ててほしい。
 - 小島 明朗 様(埼玉県) 現金 5千円
 - 環境にやさしい町づくり寄附。摩周湖の環境保全に使ってほしい。
 - 林 弘子 様(中央2) 現金 30万円
 - ▼亡夫(林隆雄)が生前、町にお世話になったお礼として。
 - 石澤 登 様(鈴蘭1) 現金 10万円
 - ▼亡母(石澤カヲル)が生前、偉和

- 和田 繁男 様(屈斜路) 現金 5万円
- ▼亡母(和田数江)が生前、町にお世話になったお礼として、福祉に役立ててほしい。
- 江口 佑子 様(美里4) 絵本 8冊
- ▼児童図書資料の充実の充実に役立ててほしい。
- 小川 硬一郎 様(三重県) 現金 1万円
- ▼ふるさと寄附金。町に役立ててほしい。

おはなしはらっぱ 9月

- テーマ 『みんなであそぼう』
- ☆20日／『いるいる だあれ』 ほか2冊
 - ☆27日／『おでこ びたっ』 ほか2冊
- ※6日は「子どもフェスティバル」のため、13日は「絵本作家・あべ弘士さん講演会&ワークショップ」のため、お休みします。
- 時間／午後1時～ ○場所／弟子屈町図書館
おはなしはらっぱは毎週土曜日午後1時! みんな集まれ!

弟子屈町住民の終末期を考える より良い生と死を考える集い

- ▶日時／9月17日(水) 19時～20時15分
- ▶場所／町公民館 講堂
- ▶テーマ／延命治療(人工呼吸・人工透析)について
- ▶講師／摩周厚生病院 院長 森正光 氏
- ▶対象／一般町民の方、医療従事者、施設職員、ケアマネジャー など
- ▶入場料／無料
- 問い合わせ先／摩周厚生病院 ☎ 4 8 2 - 2 2 4 1 まで。



Monthly Schedule

今月のこよみ

日	月	火	水	木	金	土	
<small>記号の見方</small> <small>○</small> ～健診や子育て相談など <small>△</small> ～行政相談、人権相談 <small>◇</small> ～保育園開放など <small>▽</small> ～子育て支援センター開放など <small>◇</small> ～税の納期など <small>◎</small> ～イベント、その他	<small>○</small> ひなたぼっこ開放「0～1歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) <small>◇</small> 健康相談(役場・10:00～) <small>◇</small> 母子手帳交付(役場・10:00～)	<small>○</small> ひなたぼっこ開放「2～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	<small>◇</small> 保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～) <small>▽</small> ひなたぼっこ移動開放「0～3歳」(川湯駅前交流センター・9:30～11:30)	<small>○</small> ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	<small>○</small> ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30)	<small>◎</small> 第11回子どもフェスティバル(公民館・10:00～)	
7	<small>○</small> ひなたぼっこ開放「0～1歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) <small>◇</small> 健康相談(役場・10:00～) <small>◇</small> 母子手帳交付(役場・10:00～)	9	<small>◇</small> 保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～) <small>◇</small> 乳・子宮がん検診(釧路がん検診センター)	<small>▽</small> 親子遊び「小麦粘土で遊ぼう」(子育て支援センター・9:30～11:30) <small>○</small> ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・14:00～16:30)	<small>○</small> ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	<small>◎</small> 絵本作家・あべ弘士さん講演会(10:30～福祉センター)	
14	15 敬老の日	<small>○</small> ひなたぼっこ開放「2～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) <small>△</small> 人権相談(公民館/川湯消防会館・13:00～15:00)	<small>◇</small> 保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～) <small>◇</small> 乳児・1歳半児健診(福祉センター・9:15～) <small>◇</small> フッ素塗布(福祉センター・10:00～) <small>◇</small> 予防接種「BCG」(福祉センター・14:30～)	<small>○</small> ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) <small>△</small> 行政相談(公民館・13:00～15:00)	<small>○</small> ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) <small>▽</small> 予防接種「二種混合」(摩周厚生病院・15:00～)	20 おはなしはらっぱ(図書館・13:00～)	
21	23 秋分の日	<small>○</small> ひなたぼっこ開放「0～1歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) <small>◇</small> 健康相談(役場・10:00～) <small>◇</small> 母子手帳交付(役場・10:00～)	<small>◇</small> 保育園開放「遊んDay」(おひさま保育園/川湯保育園・9:00～) <small>▽</small> ひなたぼっこ移動開放「0～3歳」(川湯駅前交流センター・9:30～11:30) <small>◇</small> ベビーマッサージ教室(子育て支援センター・14:00～) <small>◇</small> 乳・子宮がん検診(釧路がん検診センター) <small>◇</small> 夜間納税窓口開設(役場/川湯支所・20:00まで)	<small>○</small> ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	<small>○</small> ひなたぼっこ開放「0～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30)	27 おはなしはらっぱ(図書館・13:00～)	
28	<small>◇</small> 特定健診・がん検診など(福祉センター・6:00～) <small>◇</small> 健康相談(役場・10:00～) <small>◇</small> 母子手帳交付(役場・10:00～) <small>○</small> ひなたぼっこ開放「0～1歳」(子育て支援センター・14:00～16:30)	<small>◇</small> 特定健診・がん検診など(福祉センター・6:00～) <small>◇</small> 健康相談(役場・10:00～) <small>○</small> ひなたぼっこ開放「2～3歳」(子育て支援センター・9:30～11:30/14:00～16:30) <small>◇</small> 固定資産税3期、国民健康保険税4期、後期高齢者医療保険料4期納期限					

■問い合わせ先 / ◇健康推進課 ☎482-2935 △環境生活課 ☎482-2934 ◇税務課 ☎482-2914 ◇おひさま保育園 ☎482-2444 ▽子育て支援センター「ひなたぼっこ」 ☎482-5667

●編集後記●
 ▼去る8月21日、人口問題フォーラムが開かれました。子どものころ、湖で楽しんだ記憶や雪遊びの思い出は、豊かな弟子屈の自然あってこそだと思えました。都会の便利さばかりが良く映りますが、自然に寄り添い、心豊かに生きられるこの町を、わが子へ手渡してあげたいと強く感じました。(小見山)
 ▼広島市、礼文など、記録的な大雨による土砂災害が相次いだ夏でした。昨年と同様に、全国各地で大規模な土砂災害があったことを思い出し、心を痛めています。自然の前に人間は無力ですが、せめて日頃の備えは忘れずにと、防災の日を前に思っています。(宮田)

●お悔やみ申し上げます●
 今井 愛彩ちゃん(慎也)湯の島1
 相田 達斗ちゃん(智希)湯の島1
 松岡 煌祐ちゃん(浩幸)美里3
 小野 舞羽ちゃん(竜海)中央2
 深谷 伊代那ちゃん(和明)美留和
 ●お誕生おめでとうございませう●
 今井 愛彩ちゃん(慎也)湯の島1
 相田 達斗ちゃん(智希)湯の島1
 松岡 煌祐ちゃん(浩幸)美里3
 小野 舞羽ちゃん(竜海)中央2
 深谷 伊代那ちゃん(和明)美留和
 ●人口統計 ●7月末現在
 人口計 7,913人 (プラス12)
 男 3,762人 (プラス6)
 女 4,151人 (プラス6)
 ●世帯数 ●3,976世帯 (プラス9)
 吉田 鉄雄さん(80歳)美里6
 平岡 トシ子さん(92歳)泉3
 林 隆雄さん(77歳)中央2
 永田 ミサオさん(93歳)桜丘3
 澤田 ハルさん(100歳)川湯温泉1
 櫻井 容子さん(88歳)川湯温泉4
 今野 キヨさん(94歳)美留和
 榎本 道子さん(81歳)川湯駅前1

ひとつになつたよ

原 維空 ちゃん
 佐々木 小夏 ちゃん
 狩野 涼音 ちゃん

救急フェア2014 in 摩周

たった一つの命のために～あなたの勇気が愛する人を救う～

9月9日の『救急の日』を目前に、道の駅摩周温泉で「救急フェア2014 in 摩周」を開催します。
 町民の皆さんや観光客の方が対象で、人工呼吸や心臓マッサージなどの心肺蘇生法や、電気ショックで心臓の動きを取り戻すAEDの使い方、骨折の固定方法などを、短い時間で簡単に説明します。心肺蘇生法などの処置を学んだ方、一緒にお越しになったお子さんに粗品を用意していますので、ぜひこの機会に学んでみませんか？たくさんの方の参加をお待ちしています。

- ▶主催 / 弟子屈消防署救急救助係
- ▶日時 / 9月6日(土) 13時～15時(雨天中止)
- ▶場所 / 道の駅摩周温泉
- ▶内容 / ①心肺蘇生法 ②AED取り扱い ③骨折処置方法 ④救急車内の展示 ⑤非常食の試食 など

防火スポーツ大会を開催します

火災予防運動の一環として防火スポーツ大会を開催
 □火の用心パークゴルフ大会
 □防火ソフトバレーボール大会

▶期日 / 10月26日(日)
 ▶場所 / 釧別河川敷パークゴルフ場
 ※参加を希望される方は、各協会事務局か弟子屈消防署までご連絡ください。

火事と救急は119番

弟子屈消防署

7月末までの出動件数
 火災 弟子屈 3件
 川湯 0件
 救急 弟子屈 282件
 川湯 86件

☎482-2073 E-mail:teshikaga.fire.119@bird.ocn.ne.jp

※お誕生、お悔やみは、7/1～7/31に弟子屈町役場に届け出をされた方のうち、掲載を希望された方のみ掲載しています。弟子屈町以外に届け出をされた方で掲載を希望される方は、役場環境生活課町民係までご連絡ください。